平成18年度

事　業　報　告　書

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

調布市武者小路実篤記念館運営事業団

＜平成18度事業報告＞ 要旨

調布市武者小路実篤記念館は昭和60年10月に開館してから21年目となり、この間、平成４年１月に当事業団が設立されてからは、調布市武者小路実篤記念館の事業活動全般を担い、武者小路実篤の業績を顕彰するとともに、現代において彼の作品や活動の魅力を改めて見直し広く普及する事業を展開し、各方面から高い評価をいただいてまいりました。

平成18年度は、引き続き調布市教育委員会からの受託事業を中心として、開館から今日まで蓄積してきた展示・普及、収集・保存、調査・研究活動をとおして得られた成果と信頼をもとに事業を進めました。そして、作品・資料や情報の適切な管理と有効な活用をはかるとともに、資料館の機能を十分活用し、来館者の要望に沿って、記念館が特色ある教育施設や地域の芸術・文化の拠点としての役割を担うべく多彩な事業を展開しました。

また、平成17年9月4日の集中豪雨による浸水被害後、事業活動、収蔵資料や展示環境への細かな点検などを通して、実篤記念館事業全般への信頼回復に努めてまいりました。

当事業団の運営にあたっては、新たな役員体制となり、事務事業の強化を計り、設置理念、事業内容の充実を達成するために、規定等の整備を行うとともに、必要な組織、効率的かつ円滑な運営面のあり方を、各方面の協力を得ながら検討してまいりました。また、18年度より公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図り、事業内容や効率性をわかりやすく公表するように努めました。

事業の中心である展示活動においては、春の特別展　没後30年「心豊かに～実篤の画讃に生き方を学ぶ～」を、17年度中止となった「白樺とロダン」を平成19年2-3月に開館20周年企画として開催し、各方面より好評をいただきました。また、企画展では、幅広い武者小路

実篤の活動を紹介してゆくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介する展示を開催しました。

　普及事業は恒例となった「実篤に挑戦」（絵画制作会）をはじめ、多くの応募が寄せられている「本を作る」講座、読書会、朗読会、美術講座、自然観察会など引き続き内容の充実を図り、子供から高齢者まで各年代層に対応した良質で、多彩な事業を実施しました。

　事業をサポートする協力ボランティア活動は、普及事業への協力や広報資料の送付、他館より送付された図録資料の整理のほかに、18年度からは実篤公園の草花調査、草木の育成、手入れ作業に取り組みました。また、活動を充実させるために、関連美術館の見学、身障者へのサポートなどを学ぶ研修を開催しました。協力ボランティアは記念館の事業展開に大きな役割を果たすまでになり、市民、地域との連携を担う事業として、今後も推進してまいります。

　学校教育との連携では、教育現場での記念館の活用を促進するため、学校図書館への館刊行物の配付、利用や事業案内などの情報提供を行い、実篤や記念館に親しむ機会として夏休みを中心に小・中学生を対象とした講座や自由研究サポートを開催しました。また、子供用の解説シートを作成し、より多くの小・中学生が利用できるように普及に努め、これらを通して「調べ学習」「体験学習」「創作、鑑賞」の場となるべく事業を展開しました。18年度には、新たに市内各校の職場体験や訪問、美術鑑賞教室を受入れ、武者小路実篤への理解や博物館施設の活用を通して、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場となるべく取り組みました。

　地域連携事業として、桐朋学園大学音楽部などの協力を得て、コンサートを開催し、回を重ねるごとに来館者が増えるほど好評なものとなりました。

　記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページを活用し、「館報」の内容をより充実させるとともに、各方面への積極的な広報活動を行い、各種取材への対応もいたしました。

閲覧室では、開架図書を中心とする閲覧業務、レファレンス業務のほか、情報提供システムの活用を引き続き進め、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

作品・資料の収集・管理・保存・修復・調査研究等にかかる事業においては、収集では資料情報を集め調布市に提案し、これら収集した作品・資料を整理し、適切な保存とデータ化作業を行いました。特に収蔵品データベースに集約される情報の充実を計り、データ入力と整備に取り組みました。さらに、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、収蔵環境調査に協力し、保存作業、作品の修復作業、資料の複製制作を実施しました。また、昨年度の浸水による作品・資料への影響を防ぐために、引き続き地下にある二箇所の収蔵庫内の資料やフィルムの状態を把握するために定期的な点検を実施し、必要に応じた保存作業を実施しました。

調査研究活動では、特別展関連及び所蔵資料の調査を実施し、他の文学館、美術館や関係機関との協力を得ながら、収蔵品データベースをはじめとした情報提供システムの充実に努めるとともに、武者小路実篤に関する情報センターとしての役割を担うべく活動を進めました。

「友の会」においては、これまでの会員への情報提供の内容を充実させ、好評となったミュージアムショップの運営のほかに、会員の交流会などを開催し、活動内容のさらなる展開を進め、記念館事業を側面から支援しました。

調布市武者小路実篤記念館運営事業団
【平成18年度　事業報告】

1．　入館状況　　詳細、**別紙1**　「使用状況」のとおり

2．　展　　示　　詳細、**別紙2-1**「展示活動」のとおり

3．　普　　及

（1）講座・講演会等　　　　　詳細、**別紙2-2（1）**のとおり　　　※

・年代を問わず、様々な角度から武者小路実篤、実篤記念館や公園を知るきっかけづくりを中心とした講座、講演会を開催。　　年間21件37回開催

（2）印刷物の編集　　　　　詳細、**別紙2-2（2）**のとおり　　　※

・特別展や武者小路実篤への理解を深めるために解説資料の刊行作業と、記念館事業の周知をするための資料を作成。

（3）学校教育との連携　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※

・学校図書館への実篤関連資料の配付及び情報提供を行い、利用普及に努めた。

・夏休み講座、自由研究サポートの充実、親子参加事業の開催。

・職場体験、職場訪問、美術鑑賞教室に協力。　**別紙2-2（3）**のとおり

（4）協力ボランティア活動　　詳細、**別紙2-2（4）**のとおり　　　※

・普及事業への協力、広報資料の発送作業、他館より送付の図録、年報などの資料整理の活動を行う。　（登録者33名）

・18年度より実篤公園の草花調査、草木の育成、手入れ作業を行う。

・ボランティア活動を充実させるための、研修会や会議を開催。

・事業団は活動の日程等の調整を中心に対応。

（5）地域連携事業　　　　　詳細、**2-2（5）**のとおり

・地域連携事業として桐朋大学音楽学部等の協力によるコンサートを開催

（6）広報活動　　　　展示、普及事業の周知及び取材に対応

・特別展等ポスター、チラシの作成、配付　　　　　　　　　　2回

・テーマ展、普及事業のミニポスター、チラシの作成、配付　　　29回

・ホームページの更新（年12回）　年間アクセス数　　約1,237,147件

・調布市報　月2回
・報道機関等への情報提供　31件
・取材対応（新聞・雑誌・TVなど）　99件

（7）展示解説及び講師

・展示解説(事業団主催)　10回
・団体見学者に対しての展示解説　23回
・他の博物館、学校、文化団体等から講座などの依頼に対し学芸員が対応。
2件　2回

（8）他機関への事業協力

・他機関の展覧会開催のために情報提供、作品・資料の貸出作業を実施
調布市東部公民館　「中川一政」展　(7月)
さいたま文学館「武者小路実篤と新しき村〜理想の旗のもとに〜」展
(9/30〜12/3)
世田谷美術館、愛知県美術館、島根県立美術館（巡回）
「ルソーの見た夢、ルソーに見る夢」展（9/22〜平成19年5/25）
世田谷美術館「田園交響楽」（平成19年1/4〜4/8）

4.　閲　覧　　詳細、**別紙1**のとおり

閲覧室の開架図書を中心とする閲覧及びレファレンス、資料照会

一般閲覧	開室日数	344日
	利用者数	4,230名
資料照会（レファレンス）		1,099件

（カウンター、電話、メールを含む）

5.　情報提供システム　※

収蔵品の文字・画像・映像情報等を収録する情報提供システム（収蔵品データーベース、情報提供システム、映像視聴システム、ホームページ）は、平成17年12月より稼働し、18年度は各種情報及びコンテンツの充実と活用促進を実施。

また、データの追加・更新についても、下半期からは直接入力を開始して、情報提供が速やかに行えるようになった。

・収蔵品データベース　アクセス数（年間）　約329,268件

6. 資料収集・管理　　　詳細、別紙2-3のとおり

（1）収　集　　　579点（寄贈420点/購入159点）

（2）修　復　　　4点

（3）複　製　　　2件14点

（4）映　像　　　3件

（5）貸　出　　　28件

（内訳）作品・資料：3件　63点　/　写真：25件　124点

（6）写　真　　撮影　　3件/ 写真パネル作成53点

（内訳）特別展関連資料撮影：2件　/　所蔵資料ほか　：1件　82点

浸水被害を受けた写真パネルほか、53点を新たに作成。

（7）　**資料整理・保存**（収集整理以外）

・資料状態の把握

浸水の影響から収蔵品、特に地下収蔵庫内の図書、雑誌、印刷物、フィルム等の状態を把握するため定期的に点検を行う。

・図書保存箱の作成　　105点

・資料画像のデジタル化　　300点

・写真フィルムの整理　　737点

・他館発行の図録、年報整理　　330点

（8）**データ作成・整備**

・図書データの整備　　3,247件

・文字データと画像データのリンク作業　　300件

・美術品、原稿、書簡、写真資料データ作成・整備作業　　3,193件

・画像データ整備作業　　13,402件

（9）　**環境調査**

・展示及び収蔵環境の調査に協力　　年2回実施（8月、2月）

7. 調査・研究

（1）**特別展関係**

開催にともない、資料所蔵先や関係者へ、資料及び聞き取り調査を実施した。また、その成果は、展覧会及びパンフレットへの発表をはじめ、情報の記録作業を行った。

「白樺とロダン展」では、白樺同人がロダンへ直接送った手紙、浮世絵、写真資料をフランス国立ロダン美術館へ照会し、計13点の写真を入手した。

（２）資料調査

実篤及び白樺同人関係資料の調査として個人所蔵の志賀直哉宛て書簡及び河野家所蔵の作品、資料の整理及び調査を実施。

（３）武者小路実篤研究

武者小路実篤の著作データ及び主宰雑誌の目次データの整備を進めた。

８．事務事業（事務局）

（１）規約、規程等の制定及び改正

・臨時職員の雇用に関する内規の一部改正　（平成18年6月17日）
・退職金支給基準の制定　（平成18年10月1日）
・職員等旧姓等使用取扱要領　（平成18年10月20日）
・役員の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正　（平成18年10月30日）
・給与規程の一部改正　（平成18年12月25日）
・武者小路実篤記念館運営事業団規約の一部改正　（平成19年3月20日）

（２）会計事務

・公益法人会計に準拠した会計システムを導入。
・消費税の税務申告作業を実施。
・会計処理　751件

（３）理事会、監事会

・理事、監事　別紙３　「役員名簿」のとおり
・理事会　第１回理事会　平成18年5月17日　開催
　　　　　第２回理事会　平成19年3月28日　開催
・監事会　第1回監事会　平成18年5月11日　開催

９．その他

（１）旧実篤邸　耐震補強工事終了まで公開は中止。
現状の映像と写真による記録を行った。

（２）**視察**　　　　　鶴岡市、薩摩川内市まごころ文学館、学習院大学ほか
計14件

（３）**学芸員実習**　　8月1日～8日（7日間）　　　2名

（４）**友の会活動**

・友の会ニュースの発行　年5回
　～実篤記念館事業及び武者小路実篤に関する情報資料等の提供

・実篤関連図書、実篤カレンダー（2007年版）等の有料頒布

・ミュージアムグッズの制作と頒布

・観梅会の開催　平成19年2月18日（日）　実篤記念館・東部公民館

　中庭にある新しき村より贈られた梅の花を眺めながら、邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後、東部公民館でミニ講座と会員の交流会を開催。

演奏：桐朋学園大学音楽部、邦楽アンサンブル花筏
講座：「実篤の子供観」
　寺澤浩樹氏（文教大学教授）　今防人氏（日本大学教授）
参加者：コンサート参加者94名/交流会　35名

・鯉の募金活動を実施　　錦鯉5尾　虹鱒16尾を実篤公園の池に放流

・当年度会員数～73人

・事業団は事務局を担当

（５）**施設**

１．実篤記念館
　＊受付、窓口業務
　＊休憩施設の運営　ビデオ、休憩コーナー（給茶設備）の管理運営
　＊実篤記念館日常管理への協力

２．実篤公園施設の活用
　＊実篤公園の日常管理への協力

３．旧実篤邸の保存と活用
　＊旧実篤邸保存
　　邸内の資料の適切な保存を図った。
　＊旧邸耐震工事設計への協力

＜凡例＞　　事業項目にある「※」印は、普及促進事業。

別紙1

平成18年度　調布市武者小路実篤記念館使用状況

平成19年3月31日 現在
下段の（ ）内の数字は前年度

1　実篤記念館（実篤公園利用者を含む）

月	大人(人)	内　入館	子ども(人)	内　入館	計 (人)	内　入館	累計(人)	内　入館	開 館 (日)	備　　考
4 月	1,760	597	636	54	2,396	651	2,396	651	26	油彩画展
	(1,797)	(645)	(723)	(91)	(2,520)	(736)	(2,520)	(736)	(26)	3／11～4／16
5 月	2,250	1,199	465	144	2,715	1,343	5,111	1,994	26	春の特別展　没後30年「心豊かに
	(5,174)	(1,035)	(661)	(73)	(5,835)	(1,108)	(8,355)	(1,844)	(26)	～実篤の画讃に生き方を学ぶ～」
6 月	1,419	616	628	66	2,047	682	7,158	2,676	26	4／29～6／4
	(1,395)	(772)	(418)	(23)	(1,813)	(795)	(10,168)	(2,639)	(26)	
小 計	5,429	2,412	1,729	264	7,158	2,676	―	―	78	筆跡いろいろ～実篤をめぐる人々 6／17～7／17
	(8,366)	(2,452)	(1,802)	(187)	(10,168)	(2,639)	―	―	(78)	
7 月	1,151	582	399	73	1,550	655	8,708	3,331	26	
	(1,025)	(500)	(284)	(69)	(1,309)	(569)	(11,477)	(3,208)	(27)	夏休み企画「人間萬歳」
8 月	1,227	679	540	265	1,767	944	10,475	4,275	27	7／25～9／3
	(1,022)	(609)	(390)	(246)	(1,412)	(855)	(12,889)	(4,063)	(26)	
9 月	1,232	615	264	61	1,496	676	11,971	4,951	26	実篤愛蔵の逸品
	(746)	(69)	(181)	(9)	(927)	(78)	(13,816)	(4,141)	(4)・(20)	9／9～10／22
小 計	3,610	1,876	1,203	399	4,813	2,275	―	―	79	
	(2,793)	(1,178)	(855)	(324)	(3,648)	(1,502)	―	―	(57)・(73)	
10月	1,683	696	545	34	2,228	730	14,199	5,681	26	秋季展「本の美」
	(1,922)	(0)	(283)	(0)	(2,205)	(0)	(16,021)	(4,141)	(0)・(26)	～岸田劉生装幀版画・挿絵から～
11月	2,004	900	427	60	2,431	960	16,630	6,641	26	10／28～12／3
	(1,280)	(0)	(259)	(0)	(1,539)	(0)	(17,560)	(4,141)	(0)・(26)	
12月	1,023	464	330	31	1,353	495	17,983	7,136	23	
	(679)	(136)	(166)	(25)	(845)	(161)	(18,405)	(4,302)	(9)・(23)	所蔵図書名品展
小 計	4,710	2,060	1,302	125	6,012	2,185	―	―	75	～ベストセラーから稀覯本まで～
	(3,881)	(136)	(708)	(25)	(4,589)	(161)	―	―	(9)・(75)	12／9～1／28
1月	1,016	429	307	20	1,323	449	19,306	7,585	23	
	(287)	(287)	(16)	(16)	(303)	(303)	(18,708)	(4,605)	(23)・(0)	
2月	1,773	860	267	37	2,040	897	21,346	8,482	24	開館20周年企画
	(495)	(495)	(22)	(22)	(517)	(517)	(19,225)	(5,122)	(24)・(0)	特別展「白樺とロダン」
3月	2,364	1,160	700	151	3,064	1,311	24,410	9,793	27	2／10～3／21
	(846)	(592)	(203)	(36)	(1,049)	(628)	(20,274)	(5,750)	(27)・(6)	
小 計	5,153	2,405	1,274	208	6,427	2,657	―	―	74	春季展「自然は不思議」
	(1,628)	(1,374)	(241)	(74)	(1,869)	(1,448)	―	―	(74)・(6)	3／27～4／22
合 計	18,902	8,753	5,508	996	24,410	9,793	―	―	306	*旧実篤邸は，平成17年度実施の耐震診断の結果により，建物内部の公開は休止中。
	(16,668)	(5,140)	(3,606)	(610)	(20,274)	(5,750)	―	―	(218)・(232)	
月平均	1,575	729	459	83	2,034	816	―	―	25	
	(1,389)	(428)	(301)	(51)	(1,690)	(479)	―	―	(16)・(25)	
日平均	61	28	18	3	79	32	―	―	―	
	(72)	(24)	(16)	(3)	(88)	(27)	―	―	―	

＊開館（日）の下段・9月以降の右側（ ）内の数字は公園開園日数
＊下段の日平均の数値は公園開園日数により，入館者数平均は記念館開館日数による。

2　旧実篤邸公開

＊平成18年度は平成17年度実施の耐震診断の結果により，建物内部の公開は休止中。

3　閲覧室の状況

項　　目	開室日数（日）	利用者数（人）			レファレンス受付件数（件）			備　　考
		室利用者	（情報提供システム）	（PC検索システム）	カウンター受付	電話・Eメール等受付	小　計	
4月～6月	63	1,052	562	156	238	41	279	
7月～9月	63	1,062	606	109	190	35	225	
10月～12月	61	1,101	699	123	253	26	279	
1月～3月	57	1,052	699	136	271	45	316	
計	344	4,230	2,566	524	952	147	1,099	

＜参考＞ 武者小路実篤記念館 年度別入場者数

年度	大人(人)	子供(人)	計（人)	累計 （人)	開館日数(日)	一日平均(人)	
S 60	8,270	1,269	9,539	9,539	113	84	
S 61	16,174	2,874	19,048	28,587	278	69	
S 62	15,484	2,062	17,546	46,133	276	64	
S 63	14,888	1,970	16,858	62,991	277	61	
H 1	14,105	2,214	16,319	79,310	261	63	
H 2	13,608	1,700	15,308	94,618	246	62	
H 3	13,120	1,966	15,086	109,704	248	61	
H 4	14,039	1,752	15,791	125,495	218	72	＊増築工事
H 5	10,262	1,452	11,714	137,209	298	39	＊増築工事
H 6	18,152	2,050	20,202	157,411	255	79	＊資料館5/12オープン
H 7	16,875	1,661	18,536	175,947	301	62	
H 8	19,507	1,161	20,668	196,615	300	69	
H 9	19,083	1,609	20,692	217,307	300	69	
H 10	18,294	1,505	19,799	237,106	302	66	
H 11	12,829	1,750	14,579	251,685	296	49	
H 12	13,525	1,883	15,408	267,093	305	51	
H 13	15,885	2,130	18,015	285,108	300	60	
H 14	15,049	3,114	18,163	303,271	301	60	
H 15	14,782	3,999	18,781	322,052	251	75	＊空調設備工事　休館
H 16	14,643	4,212	18,855	340,907	300	63	＊実篤公園　工事
H 17	16,668	3,606	20,274	361,181	218	93	＊浸水被害により休館、復旧工事、実篤公園工事
H 18	18,902	5,508	24,410	385,591	306	79	
計	334,144	51,447	385,591		5,950		

＜参考＞開館後入場者数累計

	大人(人)	子供(人)	計（人)	開館月数・日数	
前年度末	315,242	45,939	361,181	242	月(前年度末)
累計	334,144	51,447	385,591	5644	日(前年度末)
月平均	1,316	203	1,519	254	月(当月まで)
日平均	56	9	65	5950	日(前年度末)

別紙2

平成１８年度　調布市武者小路実篤記念館運営事業団事業報告

1 展示活動

展示名称	展示概要	会期	会期中利用者数(人)
油彩画展	淡彩画がよく知られる実篤だが，書き直しのきかない淡彩画に対して，絵の具を塗り重ねる油絵はじっくり取り組めるといい，優れた作品を残した。昭和2年の最初の作品「南瓜」から昭和49年の最後の作品「蔬菜図」まで，当館が所蔵する油彩画の中から，各年代の代表作を展示した。	平成18年3月11日 ～4月16日 (32日間)	大人　435 子ども　38 計　473 (4月分のみ)
春の特別展 没後30年「心豊かに～実篤の画讃に生き方を学ぶ」	実篤の書画は身近な野菜や花などを描いた独特の画風とともに，そこに書かれた画讃で知られる。「仲良き事は美しき哉」，「この道より我を生かす道なし　この道を歩く」などに代表される画讃は，広く人々に浸透し，人生の指針や座右の銘として挙げる人も多い。また，初めて実篤の書画に接した小中学生や若者からも，「自分にぴったり」，「元気をもらった」，「心が落ち着く」といった画讃への共感や感銘の声が聞かれる。社会が複雑化し，価値観が多様化するとともに曖昧になった現代に，改めて実篤の画讃をクローズアップし，生き方を考えるヒントとして見直してもらうために展示した。	平成18年4月29日 ～6月 4日 (32日間)	大人　1,496 子ども　196 計　1,692
筆跡いろいろ ～実篤をめぐる人々	実篤は書には人物が表れるといい，自らも「字を書く時は一心になることを僕は何となく心がけることにしている」と書いている。また，原稿や手紙といった自筆資料からも書いた人物の個性を感じ取ることができる。所蔵資料の中から，実篤はもとより，志賀直哉，岸田劉生ら白樺同人，尊敬を寄せた夏目漱石，作風は異なるが同時代の作家である谷崎潤一郎，画家・熊谷守一など，交流のあった人々の筆跡を紹介し，にじみ出る作風や人柄，思い，実篤との交流を紹介した。	平成18年6月17日 ～7月17日 (27日間)	大人　549 子ども　30 計　579
夏休み企画 「人間萬歳」	「友情」，「愛と死」，「人生論」などの文学作品や様々な美術論を始めとした執筆活動，独特の作風で親しまれている書画の制作や美術コレクション，新しき村の運動など，多彩な活動をした武者小路実篤の90年の生涯を，夏休みの小・中学生にもわかりやすい解説で紹介した。	平成18年7月25日 ～9月3日 (36日間)	大人　891 子ども　339 計　1,230
実篤愛蔵の逸品	実篤は古今東西の美術に親しみ，その作品から作家の心に触れることに喜びを感じ，また，自らも多くの美術品を収集していた。当館で所蔵する，古美術を中心とした200点余りの実篤の愛蔵品の中から優品を紹介すると共に，彼の著作から愛蔵品への思いを紹介する展示とした。	平成18年9月9日 ～10月22日 (38日間)	大人　1,098 子ども　75 計　1,173
秋季展「本の美」 ～岸田劉生装幀版画・挿絵から	麗子像などの油彩画で知られる岸田劉生は，装飾美に興味を持ち，本の装幀や表紙絵を多く手がけている。中でも実篤や新しき村に係る本の装幀や挿絵，『白樺』を始めとした雑誌の表紙絵を多く描き，約70点余にも及ぶ。また，劉生が実篤へ宛てた手紙には，装幀や挿絵に関する彼の考えや希望などを書いたものがあり，実篤との友情が多くの劉生装幀本を生み出している。今回は，岸田劉生『劉生図案版画集』を中心に，様々な実篤の著書の装幀や挿絵原画，また装幀にまつわるエピソードを紹介しながら，本の美の魅力を探った。	平成18年10月28日 ～12月3日 (32日間)	大人　1,133 子ども　65 計　1,198
所蔵図書名品展 ～ベストセラーから稀覯本まで～	当館では，現在，武者小路実篤や白樺同人たちの著書，新しき村関連，実篤の生きた時代や活動を紹介するための日本近代の文学，美術，歴史に関する図書など，約26,000冊余りの図書・雑誌を所蔵している。本展覧会では，実篤の処女出版『荒野』をはじめとした志賀直哉宛の献呈著作本の数々や，ベストセラーから文学史上の稀覯本まで，当館が所蔵する図書の名品を紹介した。	平成18年12月9日 ～1月28日 (37日間)	大人　510 子ども　37 計　547

開館20周年記念企画特別展 「白樺とロダン」	武者小路実篤ら白樺派は，明治43年の雑誌『白樺』創刊時から西洋近代美術を意欲的に紹介し，中でもロダンについては，日本でいち早く紹介，これがきっかけでロダン自身から3点のブロンズ作品が白樺同人に贈られました。 白樺ゆかりのロダン作品8点と資料の計200点余りを通して彼らの活動を改めて検証するとともに，美術作品を見る喜びや楽しみを語ってきた白樺同人のロダン観を紹介する展示とした。	平成19年2月10日 ～3月21日 （34日間）	大 人　1,814 子ども　166 計　1,980
春季展「自然は不思議」	実篤は，40歳を過ぎてから絵筆をとり，野菜や花，自然の美しさ，不思議さに感動し，それを一筆一筆心を込めて描きました。 春の息吹を感じる書画を通して，実篤の自然に対する心に触れていただく展示とした。	平成19年3月27日 ～4月22日 （25日間）	大 人　94 子ども　14 計　108 （3月分のみ）

2 普及活動

(1)講座・講演会等活動

事 業 名	内　容	講　師	開催日	場　所	参加者数
春の特別展 没後30年「心豊かに～実篤の画讃に生き方を学ぶ」展示解説	展示を見ながら，実篤の書画と画讃について解説。	事業団職員	5/21・27	実篤記念館	35
講座 「実篤に挑戦！～筆 と墨で絵をかこう」(春)	実篤がよく描いた野菜や花を，日常なじみの少ない墨と絵の具で描き，実篤がどのように描いていたかを体感。	事業団職員	5/13・14	実篤記念館	44
講座 「作ってみよう！～梅ジャム」	新しき村から贈られた記念館中庭の3本の梅の木から収穫された実で，ジャム作りを体験。	事業団職員	6/17・18	実篤記念館 第四中学校	77
講座 「作ってみよう！私だけの本」	夏休みの小・中学生を対象にした講座で，本文から製本まで，3回の講座で，世界でたったひとつの自分の本を作ることを経験。	田尾明敏 岡野暢夫	7/29・30 8/3	実篤記念館 東部公民館	延べ45
講座 「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう」(夏)	実篤がよく描いたような野菜と花を，普段，あまり使わない筆と墨で和紙に描き，実篤の描き方を体感。	事業団職員	8/18・19	実篤記念館	69
講座 「実篤に挑戦！特別編～うちわに筆と墨で絵をかこう」	実篤がよく描いたような野菜と花を，筆と墨でうちわに描き，実篤の描き方を体感。	菱沼陽土女	8.20	実篤記念館	31
講座 「もっと知りたい！～自由研究サポート」	小・中学生を対象に，夏休みに自由研究をサポート。 具体的には「ワークシートを利用した記念館や公園の探求」や「実篤公園の植物を使った工作」，「実篤公園周辺の動・植物，昆虫」，「調布の歴史」，「実篤や白樺派について」などの調べ方，参考書のアドバイスを実施。	事業団職員 協力ボランティア	8/18・19 ・17・24	実篤記念館	90
講座 「もっと知りたい！特別編～実篤公園の湧水調べ」	実篤公園の湧き水と池の水を採取し，試薬キットを使って実験し，それぞれの特徴と違いを調べた。	市職員	8/6	実篤記念館 実篤公園	16
講座 「もっと知りたい！特別編～パソコンで実篤を調べよう」	小・中学生を対象に，実篤記念館の情報提供システムやホームページなどを利用して，実篤や記念館・公園について調べ，本物と見比べることを体験した。	事業団職員 ほか	8/17・18	実篤記念館	3
リレー講座 「武者小路実篤　青春期の自己形成」(全2回)	穏やかな老人の印象が強い実篤だが，若い日には自分はどういう存在か，どんな道を歩むべきか，人一倍悩み，迷っていた。そうした実篤の自己形成について，二人の講師がそれぞれの視点から語った。 ・第1回 「舞踏する心－武者小路実篤のコンプレックスをめぐって」 ・第2回 「社会意識と恋愛感情－青春期の日記を中心に」	生井知子 瀧田　浩	9/17・24	東部公民館	延べ41
企画展 「実篤愛蔵の逸品」展示解説	美術史の研究家として，また実篤に近く接した家族として，「愛蔵の逸品」展を見ながら，作品の解説とそれらにまつわるエピソードをお話しいただいた。	武者小路穣	10/7	実篤記念館 展示室	6

美術講座 「仏像に親しむ」(2回連続)	実篤の美術活動を学び，美術に親しむ講座。 愛蔵品の一つに木喰作「薬師如来坐像」があるが，木喰の作品は仏像の一木造りの系譜に連なっている。 講師の講義と見学を通して，仏像への理解を深める講座の入門編。 ・第1回　実篤が愛した仏と一木造の仏像(講義) ・第2回　東京国立博物館「仏像 ～ 一木にこめられた祈り」展(見学)	事業団職員	10/12・19	実篤記念館 東京国立博物館	延べ43
製本講座(3回連続)	10月28日から12月3日まで開催する秋季展「本の美ー岸田劉生装丁版画・挿絵から」に因み，本作りの基礎を学びながら，手作りの本を完成させた。 ・第1回　文庫本をハードカバーに製本 ・第2回　平綴製本 ～ 大切に残したい記録を綴じる。 ・第3回　和綴 ～ 昔からの製本の知恵を知る。	岡野暢夫	11/16・30 12/7	東部公民館	延べ36
実篤公園自然観察会 「秋の植物たちの不思議を観察しよう」	実篤公園と周辺に残る雑木林を歩き，国分寺崖線の地形と武蔵野の自然を体感。講師の解説で普段見逃しがちな身近な自然の魅力を見直した。 今回は，実篤も不思議に感じた自然の造形を，葉の作り，紅葉する植物やしない植物，実の形や生り方，湧水の周りの植物に注目して観察した。	冨田　広	11/18	実篤公園及び周辺緑地	13
講座 「作ってみよう」	実篤公園の植物を使って工作を楽しみ，自然に親しむ講座。今回は，竹で花器やお正月に使う器などの小物を作った。	渡邉由美子	12/23	実篤公園ほか	19
朗読会「実篤を聴く」パート6 「ロダンを謳う」	特別展「白樺とロダン」に因んだ作品を朗読。実篤がロダンの『接吻』に憧れをいだき執筆した戯曲「夢」をはじめ，『白樺』創刊やロダン作品が贈られた経緯やその当時の興奮を伝える作品を選定した。	川和　孝	2.12	文化会館たづくり映像シアター	104
開館20周年企画特別展 「白樺とロダン」展示解説	特別展「白樺とロダン」の展示を見ながら，白樺とロダンの交流や作品や資料の見どころを中心に解説。	事業団職員	2.24	実篤記念館	43
開館20周年企画特別展 「白樺とロダン」記念講演会 「『白樺』の西洋美術紹介」	白樺の西洋美術紹介という大きなテーマの中、白樺同人」たちが紹介してきた西洋美術と彼らの活動の特色や今日的意義を，画像などを採り入れ初心者にも分かりやすく語られた。	木下　長宏	3.2	文化会館たづくり12階大会議場	74
開館20周年企画特別展 「白樺とロダン」キッズ・プログラム(鑑賞教室)	特別展「白樺とロダン」に展示してあるロダン作品を子どもたちにじっくり見てもらう鑑賞教室。ワークシート5点を作成し，その中からロダン作品の鑑賞分の3点を使って講座を進行した。	事業団職員	3.10	実篤記念館	18
春の自然観察会 「早春の木々の芽吹きや花の様子を観察しよう」	実篤公園と周辺に残る雑木林を歩き，国分寺崖線の地形と武蔵野の自然を体感。講師の解説で普段見逃しがちな身近な自然の魅力を見直した。 今回は，観察だけでなく食べられる植物，ハコベ，ノビル，ムラサキ大根，ノカンゾウの若芽や根を摘み取り実際に食べてみた。	冨田　広	3.11	実篤公園及び周辺緑地	17
開館20周年企画特別展 「白樺とロダン」展示解説	特別展「白樺とロダン」の展示を見ながら，白樺とロダンの交流や作品や資料の見どころを中心に解説。	事業団職員	3.17	実篤記念館	22

(2)印刷物の編集

資　料　名	種　別	対　象	発　行	部　数	備　考
没後30年　心豊かに ～実篤の画讃に生き方を学ぶ	春の特別展　解説書	一般	平成18年4月	2,000	有償頒布
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート №7	一般・子ども	平成18年7月	3,000	増刷
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート №8	一般・子ども	平成18年7月	3,000	増刷
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート №9	一般・子ども	平成18年7月	3,000	増刷
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート　№22 ・実篤と家族 1	一般・子ども	平成18年8月	5,000	
もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート　№23 ・実篤と家族 2	一般・子ども	平成18年8月	5,000	

もっと知りたい 武者小路実篤	解説シート №24 ・実篤と家族 3	一般・子ども	平成18年8月	5,000	
実篤記念館　館報	11号	一般	平成18年10月	3,000	
開館20周年企画特別展 「白樺とロダン」	20周年特別展　解説書	一般	平成19年2月	2,000	有償頒布
実篤記念館　館報	12号	一般	平成19年3月	3,000	
実篤記念館 19年度　展示案内	年間日程表	一般・子ども	平成19年3月	20,000	

(3)学校教育との連携

学　校　名	内　容	日　程	時　間	学 年	参加者数
調布市立第七中学校	職 場 体 験	9月20日－22日	午前9時～午後3時	2年生	3
調布市立神代中学校	職 場 体 験	11月28日－30日	午前9時～午後3時	2年生	6
調布市立第三中学校	職 場 訪 問	11月29日		1年生	22
桐朋学園女子高等学校	職 場 体 験	12月13日	午前9時30分 ～午後2時30分	1年生	6
調布市立第八中学校	職 場 訪 問	平成19年1月24日		1年生	3
調布市立若葉小学校	美術鑑賞教室 「白樺とロダン展」	平成19年3月16日		5年生	90

(4)ボランティア事業

1.協力ボランティア活動　　　　**ボランティア登録者 33人**

（延）

主 な 活 動 事 業	内　容	活動日数	参加人数
収蔵資料整理作業	収蔵資料，寄贈資料整理	16	97
広報資料発送作業	記念館刊行物・ポスター・チラシ等発送	27	157
開催事業補助作業	講座，講演会等の受付，会場整理	38	269
植物ボランティア	記念館中庭等の草花植え込み作業等	17	87
ボランティア研修会	展示解説，講演会研修参加	17	173
ボランティア会議	ボランティア活動に関する打合せ	4	42
その他	記録撮影用旧邸清掃等，臨時作業	2	11
	（計）	121	836

2.協力ボランティア ステップアップ講座

研　修　名	内　容	講　師	開催日	場　所	参加者数
視察研修会	協力ボランティア研修として，実篤や白樺派ゆかりの美術館を訪ね，その活動への理解を深めるため，年1回実施。 今回は，画廊主の個人が，実篤らが大正時代に提唱した白樺美術館に共感して設立した清春白樺美術館と，バルビゾン派の絵画のコレクションを持つ山梨県立美術館を訪問。	事業団職員	11.28	清春白樺 美術館 山梨県立 美術館	23
講座 「視覚障害者ガイド」	ボランティア活動をより充実したものとするため，年に1回実施する講座。 今回は，近年障害のある方の行事への参加が増えてきていることから，視覚障害者への介助について，社会福祉協議会の出前講座を依頼。	長谷キヨ子 佐藤 忠子 森 多江子	12.21	実篤記念館 実篤公園	10

(5)地域連携事業

事　業　名	開催日・会場	連携・協力団体	事　業　内　容	参加者数
文学コンサートin実篤記念館	4月15日 実篤記念館	桐朋学園大学 音楽学部	実篤が大正七年に創設した新しき村では，労働の傍ら音楽を楽しんだ。当時の彼らが親しんだ曲を，トークを交えて演奏。	72
友の会「観梅のつどい」 コンサート・交流会	2月18日 実篤記念館 ・東部公民館	桐朋学園大学 音楽学部 邦楽アンサンブル 花筏	市民の参加も得て,記念館中庭の‘新しき村’から贈られた3本の梅の花を眺めながら,邦楽と洋楽の共演コンサートを楽しんだ後,実篤公園の池に錦鯉5尾と虹鱒16尾を放流、その後、東部公民館で会員の交流会を開催。	コンサート 94 交流会 35

3 資料収集・資料管理業務

(1)資料収集

資　料　区　分	寄　贈　(点)	購　入　(点)	合　計　(点)	備　考
図書・雑誌	405	159	564	
関連作品・資料	15	0	15	
計	420	159	579	

(2)修復

武者小路実篤作品2点　・「心」、「この道」（紙本墨書・軸装）

他者作品2点　・高村光太郎「鐘になるのを一」（短冊・軸装）/松本長十郎「花」（紙本墨画淡彩・額装）

(3)複製

武者小路実篤原稿　1点　・武者小路実篤「花咲爺」原稿（冒頭）

写真フィルム　13点　・撮影フイルムのうち、貴重写真のフィルムを複製

(4)映像

記録撮影　・「朗読会」（平成19年2月12日開催）

映像資料制作　1件　・「この道ー村内会員　瀬下四郎」

映像資料編集　1件　・「武者小路実篤　終の住み処」

(5)資料貸出

資　料　種　別	件　　数	点　　数	備　　考
作品・資料	3	63	
写真資料	25	124	印刷物・展示用
計	28	187	

平成18年度　調布市武者小路実篤記念館運営事業団決算書

収 支 計 算 書 総 括 表

（円）

款・項・目	当初予算額	補正予算額	流用（充用）	予算現額	執行額	増減	説明
1．収入の部	60,571,000	525,000	0	61,096,000	61,059,890	-36,110	
（1）補助金	41,205,000	0	—	41,205,000	41,205,000	0	市補助金（運営費補助金）
（2）委託料	18,974,000	0	—	18,974,000	18,974,000	0	市委託料（業務委託料）
（3）諸収入	391,000	0	—	391,000	355,204	-35,796	預金利子・雑収入
（4）繰越金	1,000	525,000	—	526,000	525,686	-314	前年度繰越金
（5）繰入金	0	0	—	0	0	0	
2．支出の部	60,571,000	525,000	0	61,096,000	60,931,055	164,945	
（1）管理費	41,205,000	120,000	0	41,325,000	41,218,060	106,940	会議費・人件費・事務局費
（2）事業費	19,315,000	405,000	0	19,720,000	19,299,589	420,411	受託事業費・自主事業費
（3）予備費	51,000	0	0	51,000	0	51,000	予備費
（4）返還金	0	0	0	0	413,406	-413,406	市への返還金
収支差額	0	0	0	0	128,835	128,835	

正味財産増減計算書

平成１８年　４月　１日　から

平成１９年　３月３１日　まで

単位：円

科　　　目	金　　　額		
Ⅰ　増加の部			
1　資産増加額			
①当期収支差額	128,835		
		128,835	
2　負債減少額		0	
増加額合計			128,835
Ⅱ　減少の部			
1　資産減少額			
①当期収支差額	0	0	
2　負債増加額		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			128,835
前期繰越正味財産額			4,663,558
期末正味財産合計額			4,792,393

財　産　目　録

平成１９年　３月３１日　現在

単位：円

科　　　目	金　　　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金			
現金	0		
普通預金			
三井住友銀行 つつじヶ丘支店（決済用預金）	10,538,033		
三井住友銀行 つつじヶ丘支店	128,835		
定期預金			
三井住友銀行 つつじヶ丘支店	4,663,558		
流動資産合計		15,330,426	
2　固定資産	0	0	
資産合計			15,330,426
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金		8,090,602	
事業費支出　37件	6,662,743		
管理費支出　11件	1,427,859		
未払費用		2,034,025	
事業費支出　2件	5,090		
管理費支出　12件	2,028,935		
預り金　市への返還金		413,406	
流動負債合計		10,538,033	
2　固定負債	0	0	
負債合計			10,538,033
正味財産			4,792,393

財務諸表に対する注記

１．重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

貸　借　対　照　表

平成１9年３月３１日　現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
I　流動資産	[　15,330,426]	I　流動負債	[　10,538,033]
現金	0	未払金	8,090,602
普通預金	10,666,868	未払費用	2,034,025
定期預金	4,663,558	預り金	413,406
		負　債　合　計	10,538,033
		正味財産の部	
		I　正味財産	[　4,792,393]
		正　味　財　産　合　計	4,792,393
資　産　合　計	15,330,426	負債・正味財産合計	15,330,426